



ワカサギ電動リール

<秘伝ターボⅢ>

<秘伝エスプリ>

<秘伝ミニコンボ>

取 扱 説 明 書

お問い合わせ先：APS inc. 担当：北爪 利可夫
〒370-0124 群馬県伊勢崎市境5 4 9 番地 TEL: 0270-74-3980
メール：k-makoto@mail.wind.ne.jp

【ワカサギ秘伝HP】 URL： <http://sound.jp/hidden/>
【秘伝&オレ鮎ブログ】 URL： <http://ameblo.jp/oleayu-hidden/>

ワカサギ電動・秘伝 取扱説明書 <目次>

1) はじめに	3 頁
2) ワカサギ秘伝の概要	
・超軽量ボディ ・電源部 ・ボタンレスオートフリー機構	
・ライン走行系と静音設計 ・オリジナルPEライン	4 頁
・秘伝竹穂先 ・秘伝ターボIII ・秘伝エスプリ	
・秘伝ミニコンポ	
3) 電源ケーブルとコントローラー・バッテリー	5 頁
・ケーブルの取り回しのテクニック	
・9V内蔵バッテリー（単三乾電池・6本）	
・12V外付けバッテリー	6 頁
4) 本体操作方法とライン経路	6～7 頁
5) ラインについて	8 頁
6) 秘伝を使用した釣りのヒント	9 頁
7) 穂先の適正オモリ負荷、調子と表示方法について	10 頁
8) オプション品について	
9) メンテナンスと保管方法	11 頁
10) 保証規定	

1) はじめに

この度はワカサギ秘伝電動をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
本書をよくお読みいただき、ワカサギ釣りを心から楽しんでいただければ幸甚です。

数あるワカサギ電動リールの中でも、＜ワカサギ秘伝シリーズ＞は

比類なき超軽量ボディ

強力な電源部

専用オリジナルPEライン

超高感度の竹穂先

などを採用した先進的なワカサギ釣り用の電動リールシステムです。

実釣に基づき、**ボート釣り、** **棧橋釣り**や**屋形船での釣り、そして氷上穴釣り**とあらゆるワカサギ釣りのシチュエーション、エリア、ポイントに対応できるシステムとして鍛えられてきたワカサギ秘伝は、きっとユーザーの皆さんにご満足いただけることと思います。

2) ワカサギ秘伝の概要

＜超軽量ボディ＞

ワカサギは世界的に見ても最も小型の部類の釣りの対象魚であるため、その魚信や引きをより明確に感じ取ることが出来るよう秘伝のボディ本体重量は徹底した軽量化が図られています。市販製品の中では最軽量です。

本体の平均重量（※木部重量により、個体差があります）

- ・秘伝エスプリ 約36g
- ・秘伝ターボⅢ 約42g
- ・秘伝ミニコンポ 約58g
- （ミニ本体のみ 約32g）

＜電源部＞

ワカサギ秘伝は上州赤城大沼生まれです。赤城の冬期氷上は大変寒さが厳しく、ひとたび寒風に吹かれると内蔵式の乾電池1～2本ではすぐに使用不能となってしまいます。そこで登場したのが9V（単三×6本）と12V蓄電池とこれらを制御するコントローラーです。寒さ対策のみならず、巻き上げスピードを自由に設定可能なため、多点掛けでは早め・強めに、小さく口切れしがちな魚にはスローに、など幅広く対応出来ます。

<ボタンレス・オートフリー機構>

秘伝にはクラッチを入・切するためのスイッチはありません。ボディを前傾させればフリー、後傾させればクラッチが自動で入るといふ、釣りの基本動作に対応したオートクラッチ機構が非常にスムーズな釣技を実現します。

<トラブルレスのライン走行経路と静音設計>

秘伝は釣り始め、あるいは釣りの最中にラインの走行系のトラブルやバックラッシュがほとんど発生しません。タナ決め時のわずらわしいサミングなどは一切不要です。また高性能クロズドボールベアリングを採用しているため、スプール回転はスムーズで、非常に静かです。

<秘伝オリジナルPEライン>

ウルトラダイニーマ採用の秘伝オリジナルPEラインはダイニーマを原糸のまま使用しているため、色落ちは皆無で、ささくれ立ちが極めて少なく、スベリの良さと強度・ロングライフを確保しています。号柄は015と009の2種があります。

<秘伝竹穂先>

ワカサギ秘伝の穂先は基本的に天然素材を使用しています。秘伝竹穂先は極めて鋭敏で、かすかなワカサギの魚信をも逃しません。また竹素材特有の伝達性能は、超軽量本体・オリジナルPEラインと相まって、ワカサギのアタリ、引きを存分に楽しませてくれます。ジョイント部サイズは5mmタイプを採用しています。

<秘伝ターボⅢ> (本体素材：シナ)

秘伝のフラシップモデル。

LOWとHIGH (ターボ) の2段階のパワーを瞬時に、自由に使い分けることが可能です。並列したふたつのスイッチを親指の先端と後方で、指を移動させることなく選択、プッシュすることができます。深場などでは、掛けたらLOWで助走→ターボON→手元に近くなったら再度LOWに切り替える、あるいは多点掛けで重さを感じたら即ターボONなど、リズムカルでリーズナブルな使用法がワカサギ釣りを何倍も楽しませてくれます。ノーマルSWとターボSWを同時に押した場合はターボ (HIGH) 側が優先されます。また全体のパワー・スピードコントロールはコントローラーで自由に設定可能です。

このターボⅢバージョンより、オートwindスイッチ (AWS) をパワースイッチの逆側に配し、ダブル電動使用時などに片側で魚外しやエサ付けをしている最中に、もう一方は掛かった魚を自動的に巻き上げるといふ作業が可能となりました。AWSの巻き上げスピードはLOWです。

<秘伝エスプリ> (本体素材：桐)

本体の軽量化を徹底的に追求した桐製の本体を採用したワンボタン・ワンスピードモデル

です。ターボⅢと同じくダブル電動のためのオートワインドスイッチ・AWSを装備しています。

<秘伝ミニコンポ>

ミニ本体とドックが分離できるというユニークモデル。タグリ同等の手の中にすっぽりと収まる最軽量・秘伝ミニでサソイ系の釣りを実現でき、本体と四つ足のミニドックを合体させ、ケーブルをつなぐとドック側のスイッチがノーマルボタンに、本体側のスイッチがターボボタンに変身します。完全受注生産品。

3) 電源ケーブル・コントローラー・バッテリー

- 使用前に電源ケーブルを適度な力でしごいて伸ばしてからご使用下さい。
その際本体とケーブルの接続部に直接力がかからないようご注意ください。
- ケーブルの上に物を乗せたり、踏みつけたりしないで下さい。断線の恐れがあります。
- 電動を仕舞う際には、ケーブルをぐるぐる巻きにするとケーブルに「撚り」が掛かり痛めますので、一定の長さで折りたたんで下さい。
- コントローラー前面側にあるジャックが電動用です。ここに電動からのケーブルプラグをしっかり差し込んで下さい。
- 赤いボタンが電源ボタンです。押し込むとランプが点灯します。
- ボリュームは右に回すとパワーアップです。必ずボリュームが左に絞られていることを確認してから、接続、電源ONして下さい。
通常は時計の11時～12時方向近辺で十分なパワーを得られます。
なお、不必要に過大なパワーを与えることは避けて下さい。

<ケーブルの取り回しのテクニック>

ケーブルを本体から約30～40cm位のところで二つに折り曲げ、パンの袋の口などを締めるタイイング・リボンなどでしばり、内径1cmほどの『わ』の状態にします。
その『わ』に模型飛行機などで使用する細長いゴムを取り付け、そのゴム先端を後方に置いた秘伝ハードケースに挟むなどして適当な距離をとります。

これで、竿を持ち上げてもケーブルが常に一定の位置に軽く引き戻され、足回りに絡みつくことを防ぐことができます。
使用するゴムはなるべく細く、伸びのよいものがお奨めです。
輪ゴムを切ってつなぐなどの方法も良いでしょう。

< 9 V内蔵バッテリー（単三乾電池・6本） >

- コントローラーに内蔵の電池ホルダーに単三乾電池（充電式乾電池）6本をセットして下さい。コントローラーのフタ後部のキザミ部分（切り欠き部）をこじると外れます。交換の際は内部の基板などに触れないようにして下さい。
- 外部電源を使用する場合は電池をセットしたホルダーから電源クリップを外しておき、小移動の際などにクリップONするなど、予備電源としての使用が可能です。
- 6Pタイプの乾電池は容量がすぐに不足するため使用しないで下さい。
- 長期間使用しない場合やシーズンオフには、電池の液漏れ等が予想されるため、必ず電池を取り出して下さい。**

< 12V外付けバッテリー >

- 秘伝は12V電源を使用することが出来ます。極寒地での使用でも、長時間持続する安定したパワーを得られます。
- 別売の電動用オリジナル専用12Vバッテリーを使ったり、分岐ケーブルで魚探用の12Vバッテリーを共用することも可能です。
- コントローラーの横側にあるジャックが12Vの入力用ジャックです。別売の外付け12Vバッテリーを使用すると、内蔵乾電池より、更に余裕あるパワーを得ることが出来ます。専用ケーブルとともにご購入下さい。
- プラス、マイナスの短絡（ショート）を発生させないようご注意ください。**
- コントローラーやバッテリーは水気厳禁です。ご注意ください。
- なお、秘伝HPで取り扱っているバッテリーは鉛シールド蓄電池です。完全シールドタイプですので、縦や横にしても液漏れは起こりません。
- 市販チャージャーで充電する場合は、必ず、シールドバッテリー対応型で充電して下さい。また、長期間使用しない場合は、必ず、満充電にしてから保存し、3～4か月に一度程度の再充電を行うと長持ちさせることが出来ます。
- 放電状態で長期間放置すると再充電できなくなりますのでご注意ください。**

4) 本体操作方法とライン経路

< 本体操作方法 >

- 秘伝電動は本体を前傾させるとスプールが前方に移動し、自動的にクラッチが切れて仕掛けが落ちてゆきます。水平から1～2度程度の傾きで連続的に落ちてゆきます。
- 秘伝ターボⅢ、秘伝エスプリは別売の秘伝専用竿置き台に乗せることで、適度な前傾姿勢が得られます。専用台では、本体後部を受け部分に軽く押し込むことで完全固定することが出来ますので、ボートでの移動時や釣り座から離れたりする場合は固定しておくことをお奨めします。
- ミニコンポは、後ろ足を乗せて2～3mm程度持ち上げられるような台やスペーサーを準

備すればよいでしょう。

●オモリが着底したら、スプールについている棚止め用ストッパーにラインを掛けてタナ固定して下さい。

●タナ調整で、例えばもう10cm巻きとりたい場合、穂先より10cm位置のラインをつまみ、パワースイッチをONして巻きとるようにすると簡単に穂先下の長さの調整することができます。

●スプール類のマウントパーツは根本部分から以下の順序です。

スペーサーA → プーリー（回転土台） → プーリー止めゴム →
スプール（糸巻き）、スペーサーB → スプール止めゴム の順です。

<ラインの経路>

スプール → 本体上ミニクロハードガイド → オートラインストッパー
→ 穂先ガイド → 穂先先端へ。上から見て「L字型」になります。

<秘伝ターボⅢ・秘伝エスプリのセッティング>

●体中心から見て、スプールが外側に位置し外回りになるようにして下さい。この場合、本体の内側にパワーボタンが位置し、親指での操作となります。

●本体先端に「**足つき穂先ホルダー**」をセットし、穂先を挿入し位置調整をして下さい。穂先ホルダーを回転させることで、本体との相対位置を変えられる為、指の操作位置を微妙に調整することができますし、**180度回転させると逆手での操作も可能**となります。お好みの位置にセットして下さい。

●ターボⅢの場合、パワースイッチは**前方がノーマルスピード、後方がターボ**です。親指での操作は親指全体で2つのボタンを隠すように持ち、指先端でノーマル、指の腹部分でターボスイッチを押します。親指を移動することなく、ノーマルとターボスイッチを操作するのがコツです。

●同時に押した場合はターボ側が優先されます。

●別売の「**専用竿置き台**」にセットすれば、自然で適正な前傾姿勢が得られます。高さ調整は、専用置き台のV字型受けの上下で行います。

●**自動巻き上げスイッチ（オートワインディングスイッチ）**

ダブル電動での使用中に左右同時にヒットしたり、片側を巻き上げ中に、または魚を外したり、エサ付けの最中などに、もう片方にヒットしたりすることがありますが、その際に、アワセの後にこのスイッチをオンすれば、本体を秘伝専用竿置き台に固定して、自動的に巻き上げることが可能です。この際、本体を固定するため、専用置き台の後方の受けに本体後部を軽く押し込んで下さい。自動巻き上げスピードはノーマルスピードです。

<秘伝ミニコンポのセッティング>

●秘伝ミニコンポは超小型の電動本体と分離合体可能なミニドックで構成されています。

- 合体して使用する場合、必ず後方のジョイントをつなぎ、マジックベルトで固定して使用して下さい。
- ドックサイド側のスイッチがノーマルスピード、本体上のスイッチがターボスピードとなります。同時に押した場合はターボ側が優先されます。
- ドックから外して本体のみで使用する場合は、ワンボタン・ワンスピードになります。パワー調整して下さい。

5) ラインについて

<ライン先端の処理方法>

- 出荷段階で、**ラインの先端はつまみ付チチワ**にしてあります。
- つまみ付チチワとは40～50mmのループ（輪）の先端に、もうひとつの4～5mmの小さな輪を作っているものです。先端の方は8の字結びを2回施してコブを大きくし、ここに**秘伝式両端ハリス止め**を取り付けることを前提としています。先端部分を2重にすることで強度を得ています。
- 付属品セットの中にある**秘伝式両端ハリス止め**に先端のコブを引っかけて下さい。ハリス止めの逆側には仕掛けのラインを止め付けます。
- 市販の仕掛けにはヨリモドシやスイベルが付いていますが、それらはカットし、仕掛け糸の上端に8の字結びや固結びで滑り止めのコブを作り、ハリス止めに掛けるようにすると、アタリの出が良くなったり、より緻密なオモリの重量管理が出来ます。金属類同士の接続は「スキマ」ができたり、または極小オモリ使用時にその「重さ」が問題となることがあるからです。
- 一般の片側がハリス止め、逆側が丸い輪になっているタイプのハリス止めでは、ライン先端をハリス止めの輪に通してからループにくぐらせて止め付けて使用して下さい。
- なお、ハリス止めを装着しても、全てのガイドとオートストッパーを通過させることができます。

<秘伝オートストッパーの仕組み>

- 穂先ホルダーにオートラインストッパー（船べり停止装置）を装備しています。その細い平行部分にPEラインを通して下さい。出荷段階でライン先端から25～30cmの位置に側に糸止めストッパーを固定しています。これが巻上げ時にストッパーの平行部分でラインの走行を停止します。
- 糸止めやハリス止めなどは、オートストッパー上部の穴から簡単に出し入れ可能です。

<秘伝オートストッパーの糸止めの結び方>

- 溪流やアユ用の毛糸目印を使用する方法を紹介します。
- 簡単な方法ですから、現場でも結べるようにしましょう。
- 手順

①ラインに糸止めを付ける位置を決めます。

トップガイドからストッパーまでの長さに余裕分7～8cmをプラスします。

②目印を5cmほどに切り、指定位置でラインを一回結び（普通の一回くぐらせるだけの結び）をします。出来るだけ強く堅く結んでコブを小さくして下さい。

③次にPEラインで、そのコブの上に来るように結びます。

その際、交差した輪の中にPEライン先端を2回くぐらせて下さい。

④コブ（目印）を裏返して、逆側にもう一度PEラインで2回くぐらせる結びをして下さい。目印が動かないことを確認して下さい。

⑤コブだけを小さく残すように目印の余分をカットして完成です。

6) 秘伝を使用した釣りのヒント

●秘伝の標準的な穂先は竹製で敏感なため、アタリの出方が様々に表現されます。非常に鋭敏な特性を持つので、電動本体を握ったままでは手の震えや心臓の鼓動まで伝達されるため、アタリか振動か判別できないことがあります。

●これを避けるためにサソイの後、本体を専用竿置き台などに軽く置き、手を触れるか触れないかの位置で待機させ、アタれば瞬間的に握りアワセを与えるといった方法が基本的な釣法といえるでしょう。

●逆に、しっかりと本体を把持してアタリを待つ方法もあります。

風のある日の屋形船やボートなどで、吹かれてタナが切れてしまう（オモリ位置が高くなってしまう）場合などは、しっかりと本体を把持した状態でしっかり置き台に（つまり下方方向に）押さえつけることで穂先を安定させ、さらに吹き上げられた分、穂先を水面方向に向けてゆきタナを確保してゆくというやり方です。

●有効にアワセを行うには、手首を上に戻すようなアワセ方ではなく、本体を上方へ平行移動させるようなアワセを行って下さい。本体や穂先の姿勢・角度を変えずに上方へ引き上げるようにする形となります。このようにすると、決して大きなアワセを行わなくても、確実にフッキングさせることが可能です。

●ワカサギの大きな群れが形成される時期やエリアでは落とし込み釣法が有効な場合があります。特に群れの高さが数mにも及ぶようなケースでは、一気に落とし込むのではなく人差し指などでブレーキを掛けつつ断続的に落とし込むと群れの中でサソイを掛けるより有効なことがあります。

●また電動を高く掲げ持ち、徐々に落とし込んでゆくという方法も良いでしょう。高い位置でアタリがあったら、スイッチONでフッキングするという方法も有効です。軽いタッチでONが出来、タイムロス無くトルクが効く秘伝ならではのスイッチアワセのテクニックの一つです。

●露天で降雨の際はスイッチ部分にラップフィルムなどを軽く巻くと安心して使用することが出来ます。

●1グラム程度からそれ以下のオモリを使用する場合、2段オモリ方式をお奨めします。

通常はオモリは仕掛けの下にひとつですが、軽量のオモリでは着底するまでに時間がかかるため、食い気の群れが過ぎ去ってしまいます。そこで実際にオモリの下に捨て糸を数十センチ、その下にさらに大きなオモリを配し捨てオモリとして落とし込みの早さを得るわけです。捨て糸の長さは様々ですが、基本的にはアワセ幅+ α でよいでしょう。

7) 穂先の適正オモリ負荷、調子と表示方法について

08-09年シーズンより下記のような調子と適正負荷表示方法といたします。

- 適正負荷は全て「グラム数での表示」としました。
(※便宜的に一部に号数表示もあります)
- 先調子をS、中調子をC、胴調子をDと表示します。

- ◎先調子 適正負荷オモリで先端3：根本7程度に曲がる穂先
- ◎中調子 適正負荷オモリで先端4：根本6程度に曲がる穂先
- ◎胴調子 根本に近い部分から穂先にかけて全体が曲がる穂先

- ※表示例1 「2.0-S」 → 2.0グラム負荷を推奨 S → 先調子
- ※表示例2 「3.5-C」 → 3.5グラム負荷を推奨 C → 中調子
- ※表示例3 「1.0-D」 → 1.0グラム負荷を推奨 D → 同調子

- 穂先の根本の裏側に 2.0-S などと表示されます。
- なお、お好みの穂先を特注品としてオーダー可能です。
SHOPまでお問い合わせ下さい。
- 穂先単品（あるいはヤマト運輸指定範囲ないの小物との同梱）はメール便のご利用が可能です。
- 08-09シーズンより、ラインオートストッパーは本体に装備され、穂先側にはつきませんのでご了承下さい。旧タイプのストッパーをご利用の方はご相談下さい。

8) オプション品について

- 各種オプション品は下記HPで取り扱っています。
また秘伝取扱い各小売店さんからのオーダーも可能です。

【ワカサギ秘伝HP】 <http://sound.jp/hidden/>

- 秘伝オリジナルPEライン ◎0.15号 ◎0.09号

- バッテリー ◎電動駆動用12V ◎魚採用12Vバッテリー
- ケーブル各種
- ハリチモト塗布用蛍光蓄光材「かぐや姫」
- 穂先角度調整アタッチメント「象の鼻Ⅲ」
- 視認性UP・穂先目安「バンザイ目印」
- 消耗品その他

9) メンテナンスと保管方法

- シーズン中、使用後は水やウロコなどをとり、次回、気持ち良く使用できるようにしましょう。ボディにウロコが付着した場合、ツメなどではがさず、一旦、熱めの蒸しタオルなどを当ててから拭き取ることをお勧めします。
 - ボディが汚れた場合、目の細かいコンパウンドなどで磨くことでつやと輝きを取り戻すことができます。
 - 回転パーツをとりはずし軸をティッシュなどで拭いて下さい。回転部分のパーツの順序は手前側から、
 スペーサーA → プーリー（回転土台） → プーリー止めゴム →
 スプール（糸巻き部） → スペーサーB → スプール止めゴムの順です。
- スペーサーはABとも凸部を下向きにセットして下さい。
- 魚を握って外す方の場合、魚の油脂などでプーリーと駆動リングが汚れて空回転することがありますので、中性洗剤で洗い流すと良いでしょう。
 - 特に潤滑剤などは不要ですが、付ける場合はプーリー（回転土台）と軸の接点部分につまようじなどで少量つけてください。その際、潤滑剤がプーリーや回転リングに付着しないよう充分にご注意下さい。付着した場合は前項同様に洗って下さい。
 - 長期間使用しない場合やシーズンオフは、駆動リングを外しておきます。プーリーの手前側に外すだけでOKです。
 - 長期間使用しない場合、乾電池は必ず電池ボックスから取り外して下さい。液漏れなどのおそれがあるためです。
 - 12Vバッテリーは使用後、必ずすぐに充電して下さい。途中まで使ったり、使い切った状態で放置すると充電不能となります。鉛蓄電池は常にフル充電状態にしておくのが長持ちさせるポイントです。

10) 保証規定

◎保証対象商品 ワカサギ用電動リール本体と電源コントローラー

◎保証期間 2シーズン

お買い上げ日を含むシーズンと翌シーズンの3月31日迄。

◎期間内に通常使用の範囲内で発生した故障を無償修理いたします。

◎ライン・穂先その他消耗パーツ類は保証対象外です。また経時変化および使用 によ

る消耗や瑕疵と判断される場合も対象外となります。

◎初期不良品の場合（ご購入から2週間以内）は、返送料・再送料を弊社が負担し、速やかに修理し返送、または交換品を送ります。

◎それ以降の場合は返送料はお客様ご負担、再送料は弊社負担とします。また、できる限り、ご購入者の便宜を図りつつ対処いたします。

◎ご不明な点がありましたらご遠慮なくお問い合わせ下さい。